

学校だより

12月号

一中の桜並木

令和7年12月25日

「教育目標」

考える人

思いやりのある人

助け合う人

成しとげる人



-中HP

連雀学園三鷹市立第一中学校 校長 宮城 洋之

「今年の漢字」に思う

校長 宮城 洋之

毎年恒例の「今年の漢字」が12月12日の漢字の日に発表されました。選ばれた漢字は「熊」。わずか180票の差で第2位となった「米」の方が「米価格の高騰」「備蓄米の放出」「米国のトランプ関税」など日常生活への影響が大きかったようにも感じますが、度々報じられた熊のニュースがそれだけ多くの人々の関心を集めたということなのでしょう。

☆ ☆ ☆

熊が登場する文学作品でよく知られたものに宮沢賢治の『なめとこ山の熊』があります。昔から高校の国語教科書に採用されることが多い作品で、また、子供向けの絵本にもなっています。物語の中では、「熊捕りの名人」であるベテラン猟師の「小十郎」と、なめとこ山に住む熊たちの様子が次のように描かれます。

小十郎は自分が撃った熊にこう語りかけます。

「熊。おれはてまえを憎くて殺したのでねえんだぞ。おれも商売ならてめえも射たなけあならねえ(撃たなければならない)。……(中略)……仕方なしに猟師なんぞするんだ(しているんだ)。てめえも熊に生れたが因果ならおれもこんな商売が因果だ。やい。この次には熊なんぞに生れなよ(熊になんか生まれるんじゃないぞ)」

一方の熊たちも、自分たちの命を脅かされながらも小十郎に対しては特別な感情をもっています。

「なめとこ山あたりの熊は小十郎をすきなのだ。その証拠には熊どもは小十郎がぼちゃぼちゃ谷をこいだり谷の岸の細い平らないっばいにあざみなどの生えているところを通るときはだまって高いところから見送っているのだ。木の上から両手で枝にとりついたり崖の上で膝をかかえて座ったりしておもしろそうに小十郎を見送っているのだ。」

両者は「命を奪うこともあれば奪われることもある」という対等で互いに尊重し合う関係として描かれており、そこには「共生」や「命の循環」といった宮沢賢治らしい自然観・人間観が色濃く表れています。

もうひとつ、熊を描いた文学作品として、東京都出身の俳人・三橋敏雄の俳句を紹介します。

熊の子も一つ年とり穴を出づ

冬眠から目覚めた熊の子。無事に新しい年を迎えておまえも一つ年をとったのだな……そんな俳句です。「熊の子も」の「も」は何を意味すると思いますか？ この熊の子に目を向ける「私も」かも知れませんが、「冬眠から目覚めた他の動物たちも」なのかも知れません。また、厳しい冬を超えて続いてゆくすべての生命を描いているとも読めるのではないのでしょうか。いずれにしても、『なめとこ山の熊』同様、自然に対する共感や畏敬の念が感じられる作品だと思います。

今年は熊を巡って「駆除か、保護か」といった対立する意見のやり取りを報道やSNSなどで目にしました。自然界の事は人間の思い通りにならないものですが、その「思い通りにならない」ことを前提に私たちと私たちの社会がどうあるべきなのか、そんなことをあらためて考えさせられる「今年の漢字」が選ばれたように思います。

☆ ☆ ☆



題「熊」 副校長書

ところで、一中生の皆さんは「熊手」という道具を知っていますか？ 爪を立てた熊の手のように見えるので「熊手」と呼ばれるようになったそうですが、竹製の熊手で地面の落ち葉をかき集めている様子を見たことがある人もいるかもしれませんね。熊手はもともとは農具なのですが、「かき集める道具」を「福を集める道具」に見立て、商売繁盛や開運の縁起物とされるようになりました。この熊手が売られるのが毎年11月～12月頃に浅草などで開かれる「酉とりの市」です。「酉とりの市」と聞いてピンとこない人もいますが、小判や招き猫などで豪華に飾り付けた熊手を買求める人々でにぎわう様子をテレビで見たことがある人はいるのでは？ 熊手を買う際には売り手・買い手はもちろん、周囲のお客さんも一緒に「よーっ!」という威勢の良い掛け声で三本締めを行い、購入した人は早速熊手を高く掲げて福をかき集めながら歩くのがこの季節の風物詩になっています。

☆ ☆ ☆

今年1年に進路という大きな選択肢に直面した3年生、初めて「先輩」と呼ばれた2年生、小学生から中学生になった1年生、それぞれの2025年が間もなく終わろうとしています。2026年が皆さんにとって、そして私たちの生きる社会にとってより良い年となるように、様々なチャンスで「かき集めて」行きましょう。どうぞよいお年を。

「熊の子も…」の作者・三橋敏雄氏は戦争経験者です。戦争を描いた句に次のものがあります。

戦争と畳の上の団扇うちわかな

終戦から40年ほどたってから詠まれた句です。「団扇」は夏の季語ですので、描かれているのは原爆忌や終戦記念日の8月の情景なのかもしれません。悲惨な「戦争」と、「畳の上の団扇」という平和でのどかな情景が対比されつつも、その二つが数十年間という時間を経て連続していることへの感慨が感じられるように思います。「戦後80年」の今年、全校朝礼などいくつかの機会に戦争や平和を話題としてきました。現在の私たちの平和な日常は80年前からつながっており、現在もその歩みの中にいることをあらためて考えながら「戦後81年」を迎えたいと思います。

冬季休業に関するお知らせ

★冬季休業中の来校について

1階の生徒昇降口は使用せず、生徒・保護者とも2階玄関を利用してください。上履きを置いておくことはできませんので、その都度持参するようお願いいたします。また、来校の際は必ず事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

連雀学園三鷹市立第一中学校 電話 0422-44-5371

★学校閉庁日について

12月29日（月）～5日（月）までの8日間は学校閉庁日です。教職員の勤務はありません。学校に連絡が必要な重大な事柄が生じたときは、三鷹一中ではなく市役所に電話をするようにしてください。市役所の担当者から校長・副校長に連絡が入り、学校の教職員に連絡が伝わるようになっています。

三鷹市役所 電話 0422-45-1151（代表）

本年も大変お世話になりました。よい年をお迎えくださいませ。